

## 一般質問：町田市の他自治体への災害支援について

2023.09.01

町田市議会議員 無所属会派 吉田つとむ

この度、無所属会派で山形県・福島県に出向き、町田市とダリア園などで縁が深い、川西町にも訪れた。



その際、原田町長から、「昨年の水害復興では大変お世話になりました。石阪市長を始め、皆様によろしくお伝えください」と言われました。

町田市は、水害のごみ処理を始めとする作業で、いち早く、職員や車両を現地派遣し、災害復旧に大変協力していただいたというものでした。





現地は、道路の復旧工事もまだ終わっておらず、ダリア園施設全体の復興や、ため池の抜本的な改良などの課題が残されているとのことでした。



そこで、以下の質問です。

- (1) 町田市が災害支援で出向いた自治体からどのような声を聞いているか
- (2) 町田市が支援した被災自治体は、

他にどのような自治体が応援していたか。

(3) それらのフィードバックは集積されているか。

<答弁>

直近の2020年以降では、町田市は山形県川西町、福島県南相馬市、及び上記の長野市の災害復旧支援の活動を行っている。川西町や長野市は自治体相互で災害支援の協定を結んでいる関係にある。

災害支援の体制では、山形県川西町のように依頼を受けた自治体に対し、先遣隊を出し、先方の自治体と協議を行い、必要な支援を行っている。ゴミ処分では直営職員の部隊を派遣し、スピード感を持って対応できている。支援に行った長野市の場合、日常のゴミ収集が全部民間委託であった。



川西町で撮影した画像を、視察時に撮影

<再質問> (この部分では、質問と言うより、川西町の復旧事業の説明となった)



川西町では、水害で、町内に多数存在するため池が溢水したり、決壊したり

して、その流域を中心に大きな被害を被ったという。ダリア園もその一つで、昨年は休園し、今年の開園に向けて、復旧作業が行われていた。(8月1日の)開園には、何とか間に合うとのことであった。



ただし、ダリア園の周囲の水路などの被害は大きく、単に、復旧工事をするだけで済ませるだけでは将来的に足りないのではないかと川西町では、苦慮されているところでした。



町田市からの救援では、とにかく応援の人員・車両の到着の時期が早かった。旧来から、災害支援協定が町田市と川西町で結ばれており、町田市の行政が災害応援体制を取る流れがこれまでの派遣の経験を活かして、川西町の担当者の方と事前に連絡し、速やかに人員と車両を派遣していただいた。

それら現地に派遣された方々から、水害の経験が少ない川西町の職員に対して、搬送方法など実地によく指導していただき、後の復旧活動に役立ったというものでした。派遣された町田市の職員が、川西町の職員の皆さんにも、災害ごみの処理に関する指導が優れていたというものでした。

この山形県川西町では、同じ「川西」と名前の都市と交流しており、町田市の支援派遣活動の後に、兵庫県川西市、奈良県川西町の支援派遣活動を受けたとのことでした。同じゴミ搬出の作業があり、その際には、山形県川西町の職員の人たちが、学んだ手順や区分の方法を指導できたとのことでした。それらの内容を復旧作業の工程表や記録写真を見せてもらいながら、市長や責任者の方から説明していただきました。



これらを通じて、町田市で学ぶことは、町田市が収集した災害支援情報と、その後の自治体の支援活動がどういう流れにつながったかも、よく研究してもらいたい。

今後、町田市で大きな災害が起きた事態においては、他の自治体からの支援をどのようにすれば受け入れられるかも災害復旧計画の中に組み込まれるべきだという趣旨の意見を述べました。

